

新技術活用計画書・実施報告書、 活用効果調査表の作成について

- ・令和2年1月より「NETIS」（新技術情報提供システム）がリニューアル（クラウド化）され、新技術を活用した際に作成する「新技術活用計画書、実施報告書」および「活用効果調査表」がWEB上で作成可能となりました。
- ・これまで、九州地方整備局ではExcel版の調査表等を利用してきましたが、リニューアルに伴いExcel版を廃止し、今後はWEB上での調査表等の作成へ切り替えます。
- ・本紙ではWEB上での手順を記載しています。

新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の作成について

○計画書・実施報告書、活用効果調査の作成を
NETISサイト上で実施

現行

The screenshot shows the NETIS (New Technology Information System) interface. The top navigation bar includes links for 'Plan Creation', 'Implementation Report Creation', 'Effectiveness Survey Form Creation', 'Search for New Technologies', 'Matching', 'Support Page for Technology Adoption', and 'FAQ'. Below the navigation, there are several buttons: 'Return to Previous Page', 'New Plan Creation', 'Temporary Save File', 'Temporary Save File', 'Print Preview', and 'Save Output File'. A note below these buttons states: 'About 120 minutes for time-out. Please save at each creation. If you click "Temporary Save File" or "Output File" at the time of creation, you cannot save it again. Please save it again.' There are also input fields for 'Registration Number', 'Technology Name', 'Comparison with Previous Technology', 'Organization Name', 'Department/Office Name', 'Workshop Name', 'Location of Application', and 'Plan Creation Period'. At the bottom, there are buttons for 'New Technology Application Form', 'Implementation Report Form', 'Effectiveness Survey Form (User)', and 'Effectiveness Survey Form (Contractor)'. A note at the bottom left says: 'When creating the plan, items such as "Construction Summary" and "Working Environment" are not mandatory to be filled in.' A note at the bottom right says: 'Please save it again if you click "Temporary Save File" or "Output File" at the time of creation.'

エクセルで調査表を作成

The screenshot shows the 'Effectiveness Survey Form (User)' in Microsoft Excel. The form consists of multiple tabs: 'General Information' (General Information), 'Construction Summary' (Construction Summary), 'Working Environment' (Working Environment), 'Construction Period' (Construction Period), 'Effectiveness Survey Form' (Effectiveness Survey Form), 'Comments' (Comments), 'Construction Period' (Construction Period), 'Effectiveness Survey Form' (Effectiveness Survey Form), and 'Comments' (Comments). The 'Effectiveness Survey Form' tab contains a large table with various survey questions, many of which have been checked off. A note at the bottom left of the form says: 'This form is used for the effectiveness survey of the technology adopted by the user. Please check the items that apply to your situation.' A note at the bottom right says: 'Please save it again if you click "Temporary Save File" or "Output File" at the time of creation.'



※120分でタイムアウトします。
作成の都度、一時保存を行ってください。

提出

2

新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の作成について

【NETIS TOPページ】

登録申請書作成
活用効果調査表作成

【入力画面】

タブを選択

新技術活用計画書・実施報告書

活用効果調査表（発注者用）

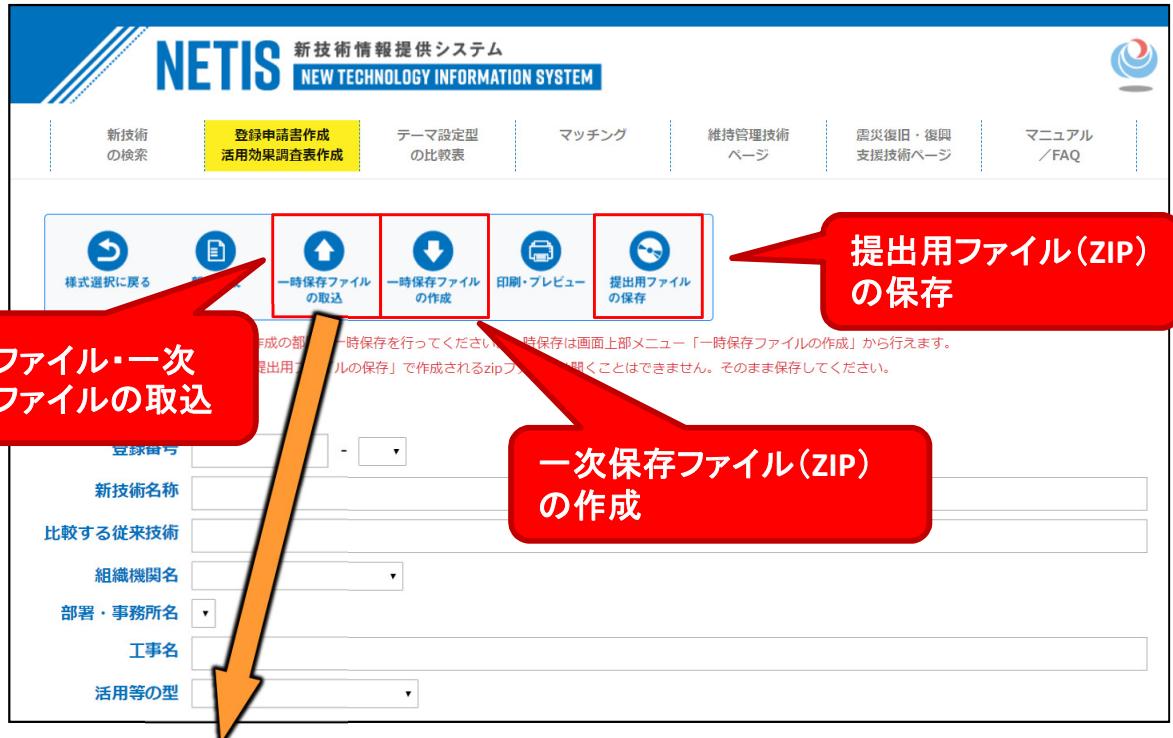
活用効果調査表（施工者用）

作成

**活用効果調査表作成
(評価情報)**

※入力する項目(タブ)をクリックして選択してください

新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の作成について



提出ファイル・一次
保存ファイルの取込

提出用ファイル(ZIP)
の保存

一次保存ファイル(ZIP)
の作成

【提出ファイル・一次保存ファイルの取込】



提出ファイル・一次
保存ファイルを選択して
ください

クリックすると入力画面に
取り込むことができます

提出用ファイルについて

◆提出用ファイルは、
「工事名_QS-〇〇〇〇〇〇.zip」で作成されます

※ZIPファイルは開くことはできません
必ず、左の画面にて取り込んでください

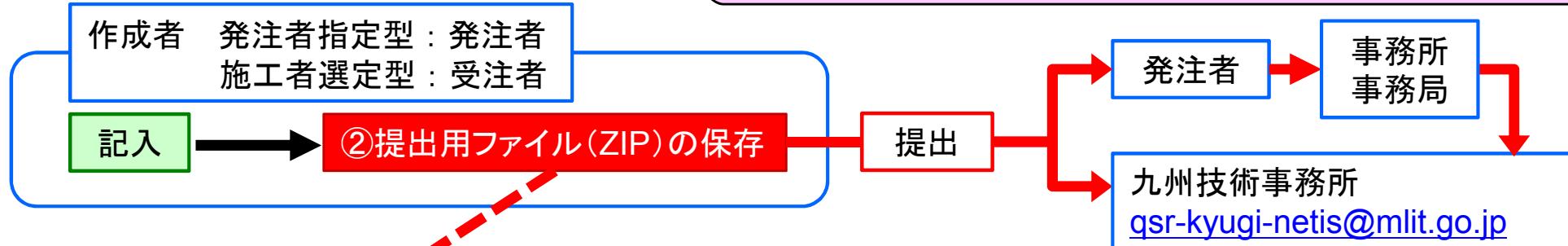
新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の作成について

【新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の提出の流れ】

新技術の活用前

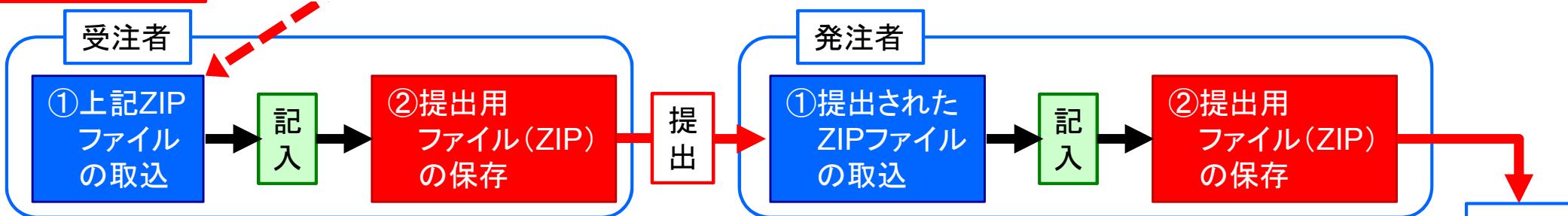
【計画書・実施報告書】

※「②提出用ファイル(ZIP)の保存」は**作成者個人のPC内に提出用ファイルが保存**されます。
保存された提出用ファイルを下記フローに従い**メール等で提出**してください。



新技術の活用後

【活用効果調査表、実施報告書(大幅な変更があった場合)】



NETIS画面



新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の作成について

九州地方整備局における新技術活用計画書の記入方法

新技術活用計画書・実施報告書 活用効果調査表（発注者用） 活用効果調査表（施工者用）

計画書作成段階においては、**■**で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）については記載の必要はありません。

作成日

受注者名

契約額(円)

工事期間 ~

新技術施工期間 ~

施工場所

施工概要 内容 全角1000文字以内。

対象数量 全角127文字以内。

新技術使用箇所 全角127文字以内。

施工（活用）概要資料
ファイルを選択 選択されていません
※ファイルは30MBまでのものとしてください。

現場施工条件 各全角1000文字以内。

●現場条件 ●周辺状況（病院、学校、鉄塔の有無等） ●自然環境（騒音、振動、水质等）

障害 施工上で重大な障害や問題が生じましたか。
 無 有 チェックを外す

障害の内容 全角127文字以内。

作業環境 陸上作業 水上作業 地下作業 水中作業 高所作業 チェックを外す

活用理由 ※チェックボックスにチェックがない場合、入力されたコメントはNETISに登録されません。
※チェックボックスにチェックがある場合、コメント欄は入力必須です。

□経済性

□工程

□品質・出来形

□安全性

□施工性

□環境

□その他 ()

□その他 ()

・計画書作成段階において、「障害」を除く**全ての項目**について記入をしてください

■で塗りつぶした項目（「施工概要」～「作業環境」）についても記入してください
特に、対象数量に関しては、**新技術のコストが推定できる「新技術部分の数量」**を記入してください

・実施報告書の作成について（-VE技術）
「-VE」技術については、新技術活用計画書作成時より**大幅な変更**や施工上で**重大な障害や問題**があった場合に、実施報告書を修正してください

「-A」「-VR」「-V」技術および「-VE」技術で計画書作成段階において「施工概要」～「作業環境」を記入していない場合については、実施報告書、活用効果調査表（「-VE」は不要）の提出が必要となります

新技術活用計画書・実施報告書、活用効果調査表の作成について

参考: 活用効果調査表入力システム操作マニュアル

【NETIS TOPページ】

マニュアル /FAQ

活用効果調査表入力システム操作マニュアル

活用効果調査表作成 簡易利用マニュアル